

| | | | | | | | |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|-----|
| 種目名 | 数学 | 選定替えの有無 | 有・無 | 選定発行者名 | | 従来の発行者名 | 啓林館 |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|-----|

| 発行者 観 点 | | 東京書籍 | 大日本図書 | 学校図書 |
|---------------------|-----------|--|--|--|
| 1 学習指導要領との関連 | | 学んだことを繰り返し確かめることで、着実に基礎的・基本的な知識・技能を習得し、生かしたり深めたりしていけるようになっている。 | 数学的活動を具体的に示し、基礎的な概念・原理・法則への理解や、表現・処理への習得をスモールステップで取り組めるようになっている。 | 単元の導入や説明等で図や絵などを豊富に用いて興味・関心を高め、繰り返し練習することにより基本的な技能が定着するようになっている。 |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 | | 自らを高めるために、考えを説明し伝え合い深めていく学び合いの手法を取り入れている。多くの章で社会に数学が役立つ問題設定がなされている。 | 各章が美しい写真で始まっている。「Mathful」を巻末に設けてあり、文化としての数学を知り、生涯学び続ける態度を培う構成がある。 | 実生活に関連した課題が取り上げられていて、数学の有用性を生徒に実感させることができるような作りになっている。 |
| 3 内容等 | (1) 内容の選択 | 内容を理解するためにキャラクターを使い、理解を十分に深めさせるためのコメントが吹き出しで表現されている。 | 1 単位時間に必要な既習事項の確認、補足説明、補充問題を設定し、個々に教科書を活用して主体的に学習できるよう配慮されている。 | ノート形式で書かれている例題の解答が見やすく、模範的な書き方である。生徒の理解を深める工夫がある。 |
| | (2) 内容の程度 | 文章表現で答えるような問題が設定されている。理解の程度の高低に応じて柔軟に対応できるほど補充問題が充実している。 | 学習のねらいに対する問題設定が多くあり、解き方のガイドラインが明確である。1 単位時間における問題数は多く、授業内容の達成度に応じて選択できる。 | 様々なパターンの基本的な問題が多く取り上げられ、基礎・基本の定着を図っている。 |
| | (3) 内容の構成 | 基礎・基本の内容をスパイラルな学習で行うことができる。もっと練習や補充問題で分量も適度に配分されている。習熟度に応じて取り組むことができる。 | 1 単位時間の内容が見開き 2 ページになっており、学習内容を確かめやすい。また、章末問題の後ろにさらに発展的な興味をもちやすい題材もある。 | 「確かめよう」で基礎・基本を定着させ、さらに発展的な学習内容も多く取り上げている。 |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | | 「数学マイノート」のページでは、考えやまとめが上手に例示されており、学年当初の時期に主体的なノート作りを始めることができる。 | タイトルや見出しなどが同じ位置に表記される工夫があり、見やすく構成されている。空欄に記入をしやすくなっている。 | 生徒の関心・意欲を高めるためにキャラクターを使い、吹き出しを使ってポイントや課題が明記されている。 |
| 5 印刷・造本等 | | 淡い色彩を基調とし、字体や文字の大きさを効果的に変え、視覚的にも見やすく鮮明である。 | 学年に応じての文字の大きさ・紙・インキなど、健康や環境に配慮がある。写真は大きくて鮮明であって見栄えがよい。 | パステル調の色を基調とした色彩で見やすく、写真も細かなところまで鮮明で見やすい。 |

| 発行者 観 点 | | 教育出版 | 啓林館 | 数研出版 |
|---------------------|-----------|--|---|--|
| 1 学習指導要領との関連 | | 既習内容を活用する発展的な問題を用いて、数学を学ぶことの意義を実感し、数学的な思考力・表現力を高められるような内容になっている。 | 「みんなで話し合ってみよう」で数学的な活動を高め、多くの場面で「ふりかえり」が設定され、学び直しや基礎的・基本的な知識・技能が定着できる内容になっている。 | 各章の扉に、数学的活動が設定されており、その章の学習事項をイメージできるような題材を取り上げ、生徒が興味をもてるような内容となっている。 |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 | | 日常生活や社会に利用する課題に触れるなかで、数学のよさが実感できるようになっている。 | 実際の生活や歴史と関連する話が多く示され、数学が生活に生かせるようになっている。仲間と関わり、高められる場面が設定されている。 | 気付きや理解を促す質問が設定されていて、自ら考え、学ぶことで、自分を高めることができるようになっている。 |
| 3 内 容 等 | (1) 内容の選択 | 「数学の広場」や発展の問題を設定したり、学習したことを活用する課題を取り入れたりして、学習を深められるよう工夫されている。 | 色囲い枠やキャラクターのつぶやきを使い、理解を深めやすくしている。随所に数学的な活動が取り入れられ、数学の楽しさやよさが感じられように工夫されている。 | 「数学探検」では、学習したことを活用したり、身のまわりにある数学を紹介したりされていて、数学の楽しさや奥深さを感じるような工夫がある。 |
| | (2) 内容の程度 | 問題を解くためのポイントが、キャラクターの吹き出しを使って分かりやすく説明している。 | 練習問題が適切に設けられており、ポイントが吹き出し等で示されている。「力をつけよう」で補充的・発展的な内容が取り入れられている。 | 「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」や「数学探検」など、問題量が豊富で生徒が主体的に問題に取り組むことができるようになっている。 |
| | (3) 内容の構成 | 章の導入で既習事項を確認し、章末で、穴埋め形式の「学習のまとめ」を使って基礎基本の定着を図っている。 | 段階を踏んで進めるよう工夫され、巻末に「数学広場」、別冊「Math Navi ブック」で発展的な学習ができるように工夫されている。 | 章末問題を「基本」「問題A」「問題B」に分け、さらに、「やってみよう」という発展的な問題を扱うなどの工夫がされている。 |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | | ページ下の「数学メモ」で発展的な内容が取り上げられ、生徒の数学に対する興味関心をより高めるよう工夫されている。 | 色囲いや強調文字を使って、印象に残るよう工夫され、挿絵・イラストなどが随所に掲載され、生徒が理解しやすいように工夫されている。 | 反復学習やふり返り学習ができるような配慮がなされている。図やグラフは、大きく配置されており、読み取りや書き込みがしやすくなっている。 |
| 5 印刷・造本等 | | 穏やかな色が多く使われていて見やすく、文字の大きさもちょうどいい。 | 行間・余白が適切にとられ、色合いも適切で鮮明に印刷されている。 | カラーユニバーサルデザインに配慮されていて、見やすい。 |

| 発行者 | | 日本文教 |
|---------------------|-----------|--|
| 観 点 | | |
| 1 学習指導要領との関連 | | 「話し合おう」「説明しよう」など、言語活動を促す場面が設定されており、表現力が育つように配慮されている。 |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 | | 学んだことを活用して取り組む課題や、ICT機器を活用する内容や方法を示し、次代を展望し、自らを高めていけるようになっている。 |
| 3 内容等 | (1) 内容の選択 | 各時の目標が太字で簡潔に書かれていて、分かりやすい。また、例題ごとに見出しが付けられており、学習内容が把握しやすい。 |
| | (2) 内容の程度 | 章末に、基礎的な問題の「くり返し練習」、ややレベルの高い「とりくんでみよう」を配置し、個に応じた学習ができるような工夫がされている。 |
| | (3) 内容の構成 | 節末にそれぞれの学習範囲の基本的な内容が習得できているか確認できるようになっており、ふり返り学習ができるような配慮がなされている。 |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | | 学習内容を分かりやすくするために、色分けされた図や親しみやすい挿絵などが効果的に取り入れられている。 |
| 5 印刷・造本等 | | カラーユニバーサルデザインに配慮されている。紙質は薄いですが、堅ろうに造本されている。 |